

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
心理学実験 2		選択	1	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	火曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;「心理学実験 1」で培った知識と技術を発展させて、目的や仮説に沿って適切に実験を立案・実施し、その成果をわかりやすくまとめ上げる力を身につけることを目的とする。また、収集したデータを統計的に解析する手法も習得する。</p> <p>&lt;概要&gt;受講生自身に実験者および実験参加者となってもらい、心理学における基本的な実験を実施する。心理統計分析用のソフトウェア HAD の使用方法など、実践的な技術についても解説する。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
学習上の助言	「心理学統計法」で扱う仮説検定(特に $t$ 検定や分散分析)の知識が必須となるため、履修の上で復習しておくことが望ましい。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。					
参考書	なるほど!心理学実験法(心理学ベーシック第2巻)/監:三浦麻子/著:佐藤暢哉、小川洋和/北大路書房/2017年					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	心理学研究における実験の重要性を理解し、具体的に説明できる。			HC (5)		
②	心理学研究における基本的な実験手法を理解し、適切に実施できる。			HC (5)		
③	収集したデータについて基本的な統計解析を行うことができる。			HC (5)		
④	研究レポートを執筆規定に従って作成できる。			HC (5) (6)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション 実験の練習 1:問い(実験目的)を立てるプロセスを体験する。	講義・演習	目的や仮説に沿って実験を立案・実施するためのポイントを整理する。 レポート作成に必要な情報やポイントを整理する。	0.5		
2	実験の練習 2:実験目的に沿った手続きの検討方法を体験する。	講義・演習		1		
3	実験の練習 3:実験目的に沿った分析方法の選び方を体験する。	講義・演習		1		
4	実験の練習 4:レポートの構成や書き方について学ぶ。	講義・演習		0.5		
5	問題・目的 1:実験テーマの背景を理解する。	講義・演習	目的や仮説に沿って実験を実施するために必要な情報を整理する。 レポート作成に必要な情報を集め、整理する。 第 5、6、8、9、10、12 回講義で指示された課題に取り組む。	1		
6	問題・目的 2:実験の目的と仮説を整理する。	講義・演習		1		
7	方法 1:実験の手続きを検討する。	講義・GW		1		
8	方法 2:実験の手続きを整理する。	講義・GW		1		
9	方法 3:実験を実施し、データを収集する。	講義・演習		1		
10	結果 1:データを整理し、図表を作成する。	講義・演習		1		
11	結果 2:統計解析を行う。	講義・演習		1		
12	結果 3・考察 1:結果の解釈を行う。	講義・演習		1		
13	考察 2:実験に関する今後の展望を検討する。	講義・GW		1		
14	研究報告 1:レポートを作成する。	講義・演習		レポートを作成し、初稿を期限内に提出する。		
15	研究報告 2:作成したレポートの不足部分や改善点を検討する。	講義・演習		レポートを修正し、修正稿を期限内に提出する。		
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。					

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	0	0	50	
総合力指標	知識・技術力	0	5	0	0	30	35
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	15	0	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	2つ（初稿、修正稿）のレポートの提出を求める。 体裁、内容、表現力等により評価する。第 14 回に、評価基準を明記したルーブリックを配布する。（各 25 点満点で計 50 点満点）				提出されたレポートを添削し、コメントと評価点を付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	第 5、6、8、9、10、12 回で、レポート作成につながる課題を課し、評価する。（各 5 点満点で計 30 点満点）				課題:コメントと評価点を付して返却する。
	②	✓					
	③	✓	授業への取組み（実験者および実験参加者としてふさわしい態度、グループワークでの積極的な意見交換など）を総合的に評価する。（20 点満点）				授業への取組み:講義中に総評を行う。
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	公認心理師資格を有し、2 年の心理査定業務の経験がある。						
実 践 的 授 業 の 内 容	専門性とこれまでの研究活動をもとに、受講生がイメージしやすい心理学研究の具体例や実践例を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>公認心理師の国家資格取得希望者は必ず履修すること。</li> <li>専門科目領域の「心理学実験 1」「心理学統計法」「心理学研究法」を履修済みであること（あるいはそれらと同等の知識が定着していること）が望ましい。</li> <li>第 1 回のオリエンテーションにて講義の進め方に関する重要なアナウンスを行う。履修予定者は必ず出席すること。公欠等やむを得ない理由で出席できない場合は必ず事前に担当教員に連絡すること。</li> <li>レポート作成にあたり、生成 AI の出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は未提出と同等の扱いとする。</li> </ul>						